

# 軽井沢町 外来哺乳類の現状と対策



屋根に登るアライグマ  
2025年 千ヶ滝西区

NPO法人生物多様性研究所 あーすわーむ

# アライグマ、ハクビシン、ミンクは 外来種(外来生物)

軽井沢町にも生息



## アライグマ

(特定外来生物,  
緊急対策外来種)

## ハクビシン

(重点対策外来種)

## アメリカミンク

(特定外来生物,  
重点対策外来種)

# アライグマとミンクは**特定外来生物**

＜特定外来生物で規制される事項＞

飼育・栽培



運搬（生きたまま移動させる）



保管



輸入



野外への放出、植栽、  
は種（種をまくこと）



許可を受けていない者  
に対しての譲渡など



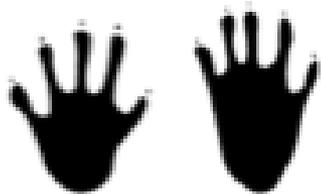
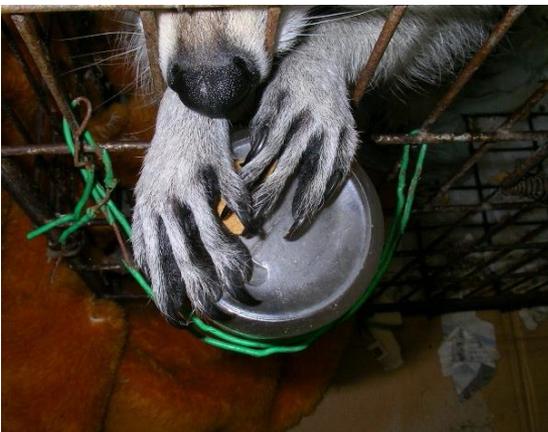
日本の外来種対策。「何が禁止されているの？」

<https://www.env.go.jp/nature/intro/1law/regulation.html>

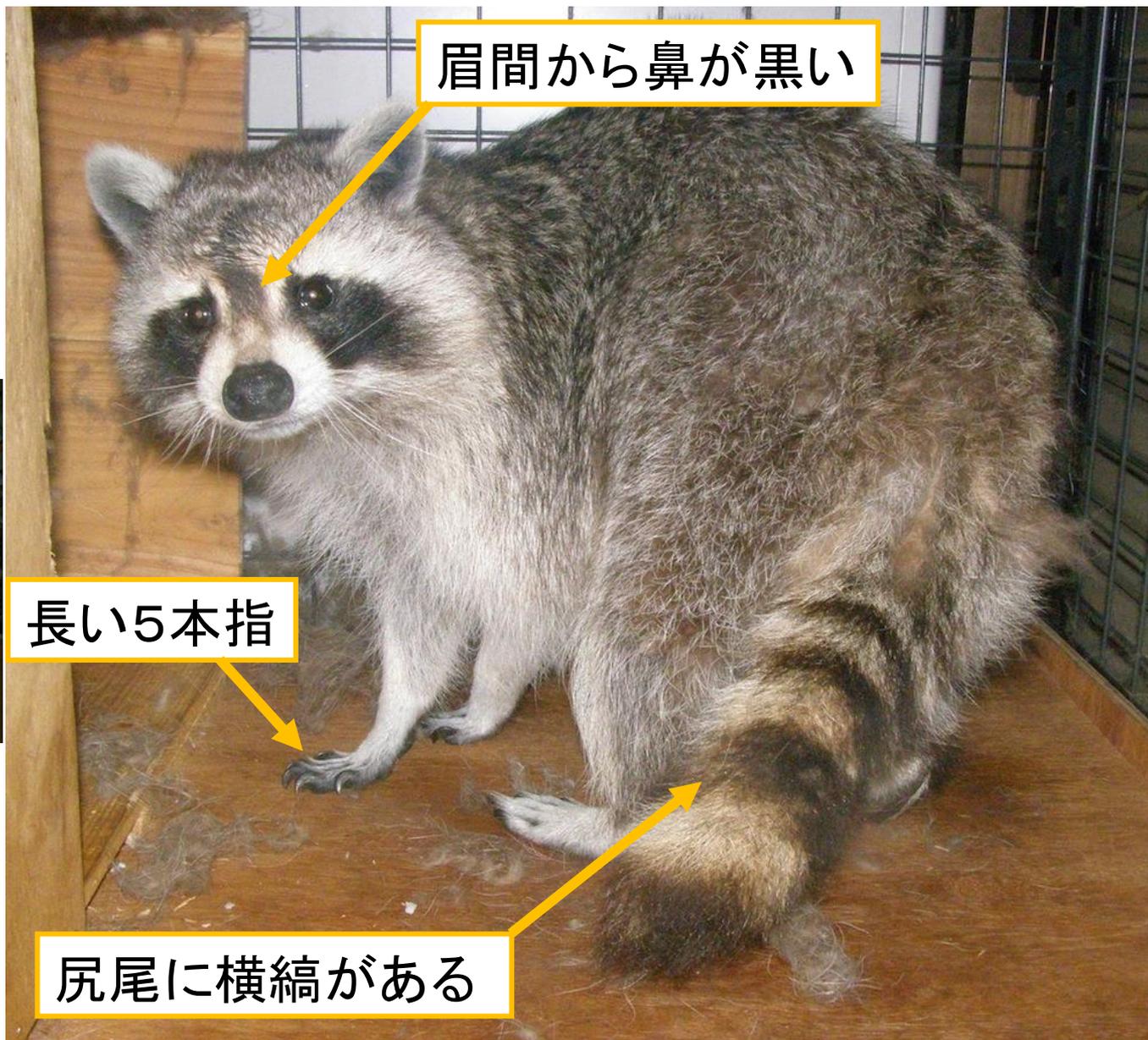
# アライグマの特徴

ペットが野生化。軽井沢初捕獲：2001年

- ・北アメリカ原産
- ・雑食性
- ・木登り得意
- ・一夫多妻
- ・縄張りなし



前足 後足  
アライグマ



眉間から鼻が黒い

長い5本指

尻尾に横縞がある

# ハクビシンの特徴

戦時中に毛皮利用。軽井沢初捕獲：？年



尾は長い、先端が黒

顔の中央白い

手足短い、5本指

- ・インドネシア・中国南部・東南アジア原産
- ・雑食性
- ・木登り得意(電線や雨樋も利用)
- ・一夫多妻
- ・冬は活動低下



前足 後足  
ハクビシン

# アメリカミンクの特徴

毛皮養殖。軽井沢初捕獲：？年

黒く、細長い体型

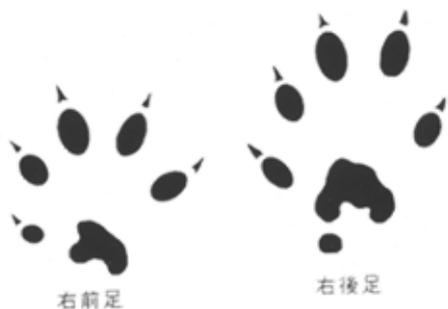


手足短い



ミンクの頭骨 (左：オス、右：メス)

- ・北アメリカ原産
- ・肉食性が強い(魚、甲殻類、小型哺乳類、水鳥類)
- ・泳ぎが得意
- ・一夫多妻
- ・性的二型(オスが大きく、メスが小さい)



右前足

右後足

# あーすわーむの外来種対策

①生息情報の収集（ハクビシンを除く）

②通報対応

③捕獲、殺処分

④解剖分析・サンプル採取

▪ 個体情報の把握（計測、性別、妊娠の有無等）

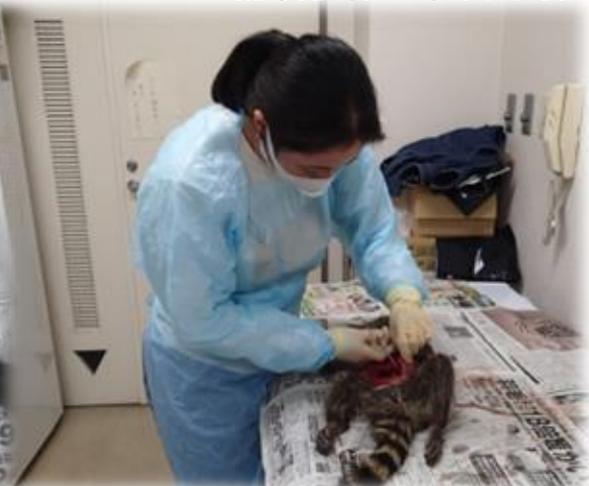
▪ 寄生虫検査

▪ 年齢査定



獣医師による麻酔薬の投与  
（できる限り苦痛を与えないとして推奨されている方法）

捕獲個体の解剖分析

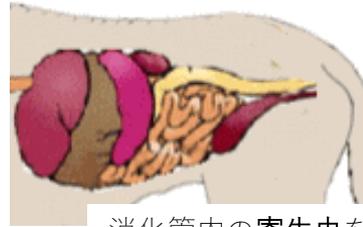


# 捕獲個体の分析内容 (採取データから把握できること)

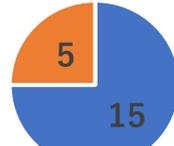


## 計測・個体の状態を調べる

- ・性別・体サイズ（体重、頭長、尾長等）
- ・大まかな年齢（成獣または亜成獣）
- ・繁殖や出産の有無（生殖器の発達具合）
- ・栄養状態（脂肪の蓄積）
- ・外部寄生虫（ダニ、ノミ）の採取など



消化管内の寄生虫を調べる



捕獲されたアライグの性比

## 人獣共通感染症のリスクを判断



アライグマ蛔虫（重篤な症状）



鉤頭虫（大きな問題はない）



寄生虫検査結果

## 個体群の増減の傾向 各地域での定着の程度



## 解剖・臓器などの採取

- 記録事項
- ・出産の有無（乳腺や子宮の状態）
  - ・栄養状態（脂肪の付き具合）

- 採取物
- ・頭部
  - ・消化管（胃、小腸、大腸、直腸）
  - ・生殖器（子宮、睾丸、陰茎骨）
  - ・筋肉の一部
- など



胎盤痕

子宮に残る胎盤痕から産仔数・妊娠率を調べる



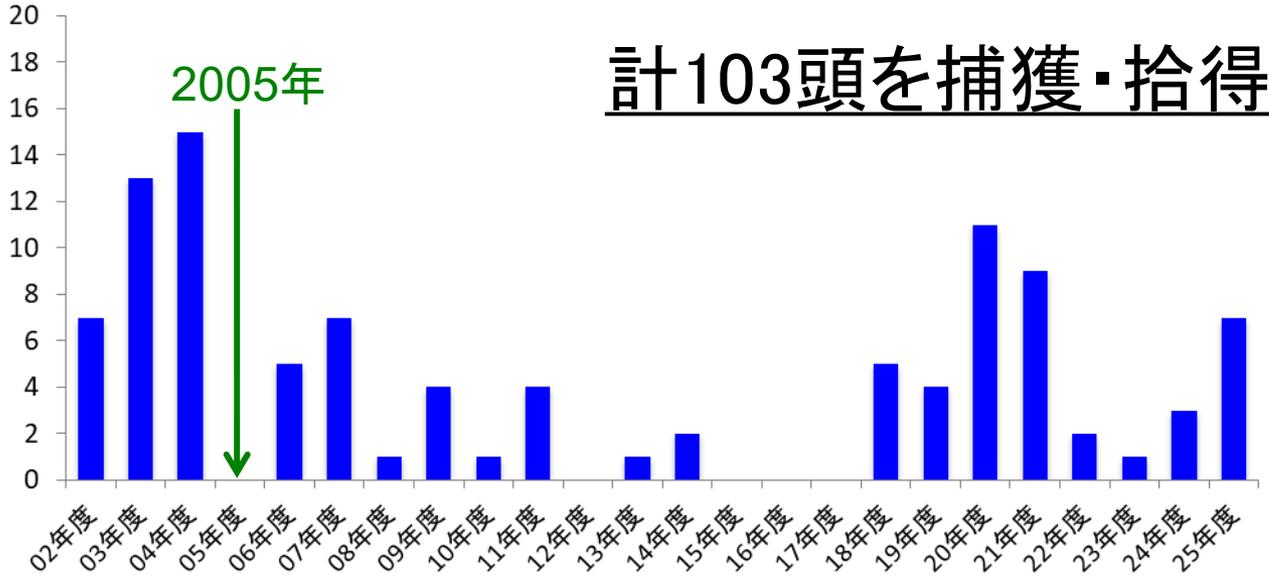
歯の年輪

歯の年輪、骨の骨化から年齢を調べる

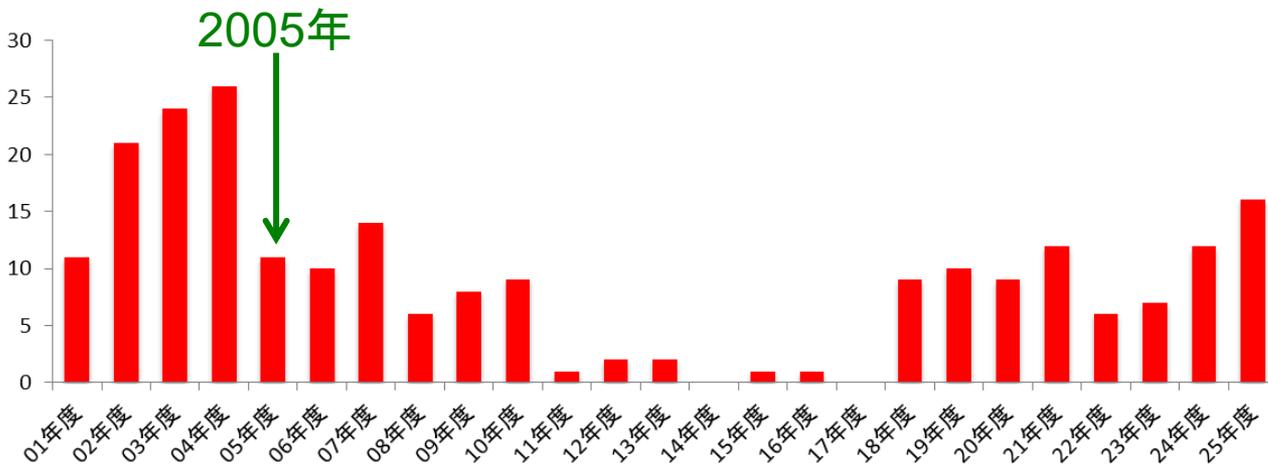


※筋肉からは遺伝子交流（分布拡大パターン）を調べる

# 軽井沢町のアライグマの捕獲状況



アライグマ捕獲・拾得頭数の変化



アライグマの情報件数の変化

早期対策が重要  
(早期の捕獲圧大)



★急激な増加を抑止  
→個体数は減少(2000  
年初期)

★2025年  
再度の増加傾向？  
・2001年以降、初の  
ロードキル  
・情報件数の増加

# 2025年度の通報対応

★対応件数 52件 (うちアライグマ・ハクビシンは14件)

★対応回数 88回

★家屋侵入が最多(52件のうち35件)

動物種	件数	割合%	家屋侵入* <sup>1</sup>	目撃* <sup>2</sup>	痕跡	農作物被害	その他
ネズミ	13	25.0	13				
アライグマ	3	5.8		3			
ハクビシン	9	17.3	7	1	1		
アライグマまたはハクビシン	2	3.8	2				
テン	4	7.7	3				1
ムササビ	4	7.7	2	1	1		
キツネ	2	3.8		1			1
アナグマ	2	3.8		1			1
シカ	1	1.9			1		
タヌキ	1	1.9			1		
イノシシ	1	1.9			1		
その他(昆虫、ヘビ)	4	7.7	4				
不明/痕跡なし	6	11.5	4		1		1
計* <sup>3</sup>	52	100.0	35	7	6	4	0

\*<sup>1</sup>家屋侵入は天井裏、床下を含む

\*<sup>2</sup>目撃には、自動撮影カメラも含む

\*<sup>3</sup>複数の動物が原因となった場合もあるので、件数はのべ数とした

# 2025年度のアライグマ情報

- ★捕獲個体 6個体
- ★死体回収(ロードキル) 2個体
- ★センサーカメラ(全23地点) 6地点
- ★住民からの情報提供 3件



撮影されたアライグマ(2025.10.07)



12月に中軽井沢で捕獲されたメスのアライグマ

# 2025年度のハクビシン情報

★捕獲個体数 6個体

★捕獲地点

扇平2、茂沢2、追分1、鶴溜1



撮影されたハクビシン(2025.09.05)



4月に扇平で捕獲されたメスのハクビシン

# 2025年度のミンク情報

★捕獲 1 個体 (錯誤捕獲)

→ウチダザリガニ (外来種) のカゴ罠

★茂沢発電所300m下流



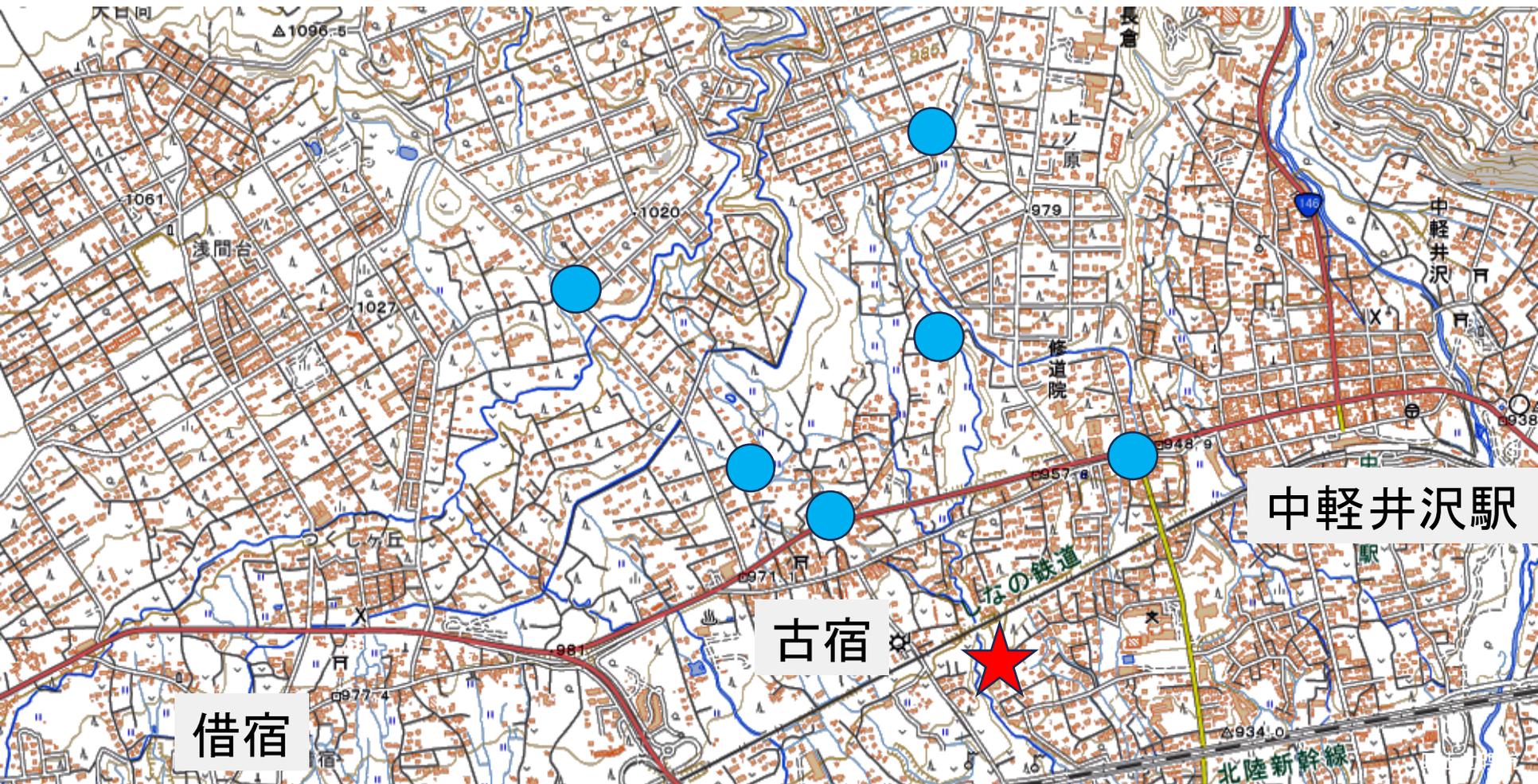
錯誤捕獲されたアメリカミンクとドブネズミ



特定外来種のウチダザリガニ

# 2025年度のアライグマ情報

## 中軽井沢～借宿 分布の中心



★ アライグマ捕獲地点      ● アライグマ情報地点

# 外来種が引き起こす問題

## ■生態系の破壊

捕食、競争などによる在来種の駆逐

## ■人間生活への被害

- ・別荘・廃屋に侵入→**家屋の損傷、糞尿被害**
- ・農作物被害、ペットの捕食

## ■人獣共通感染症

狂犬病、アライグマ回虫症、マダニ等の媒介

など

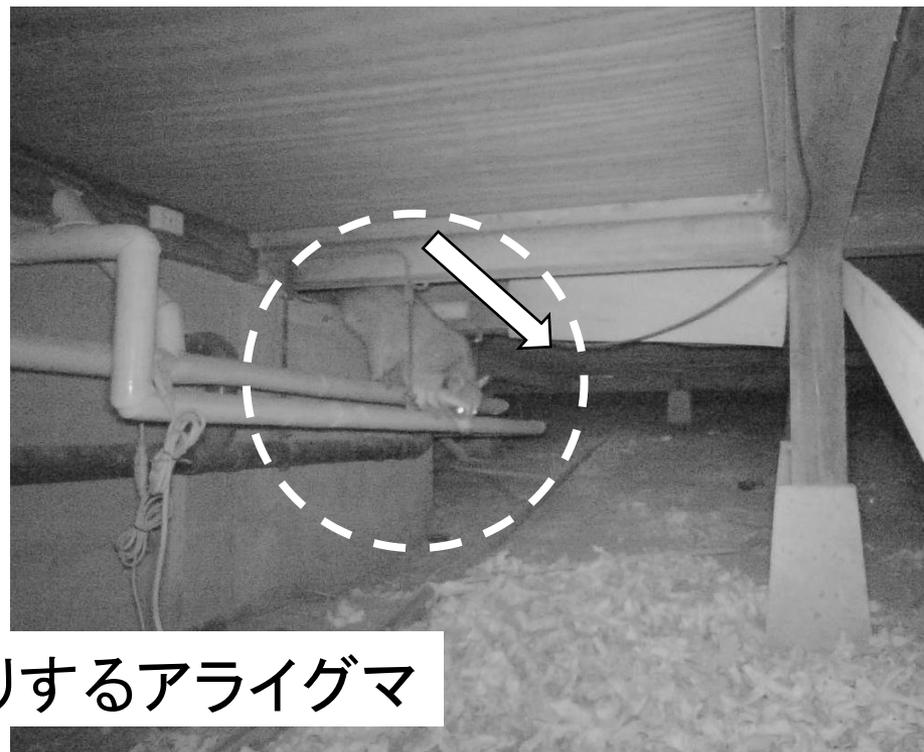


床下から侵入するハクビシン  
2024年6月23日 千ヶ滝

# 特に軽井沢町では、**家屋侵入**の被害

## 通報内容

- 天井裏から走るとような足音ができる！
- 天井裏から鳴き声ができる
- 天井にシミが出てきた
- 変な匂いができる など…



床下から出入りするアライグマ

通気口



床下



## 侵入経路

弱いところを破壊(アライグマ)

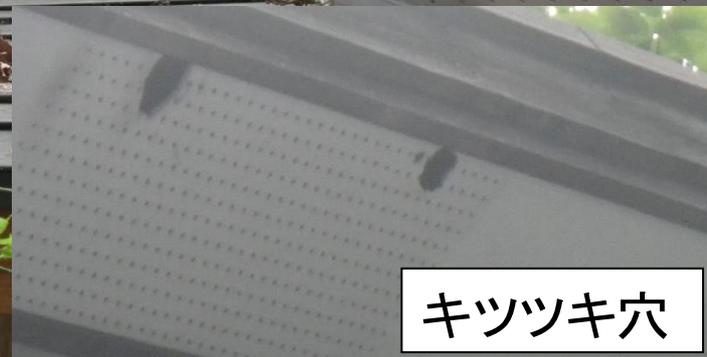
剥がされた壁



腐食した箇所



キツツキ穴



# 家屋侵入の事例 2025年度

## ★千ヶ滝地区の別荘

天井のシミ、物音→調査依頼

ハクビシンの侵入の可能性



天井裏にあったため糞(同じ規模のため糞が数か所)  
→長期にわたって天井裏を利用



断熱材が汚れて、荒らされている

# ★侵入口→屋根同士の接合部分

出入りの跡がある侵入口

1階と2階の屋根の接合部分



地上からは見えない



## 関係各所と対策を進める

①あーすわーむ（対策の提案、モニタリング）



②工務店（侵入口を閉じる）



③消毒会社（天井裏の清掃）

★別荘所有者には進捗を連絡

①動物の侵入の有無を調査

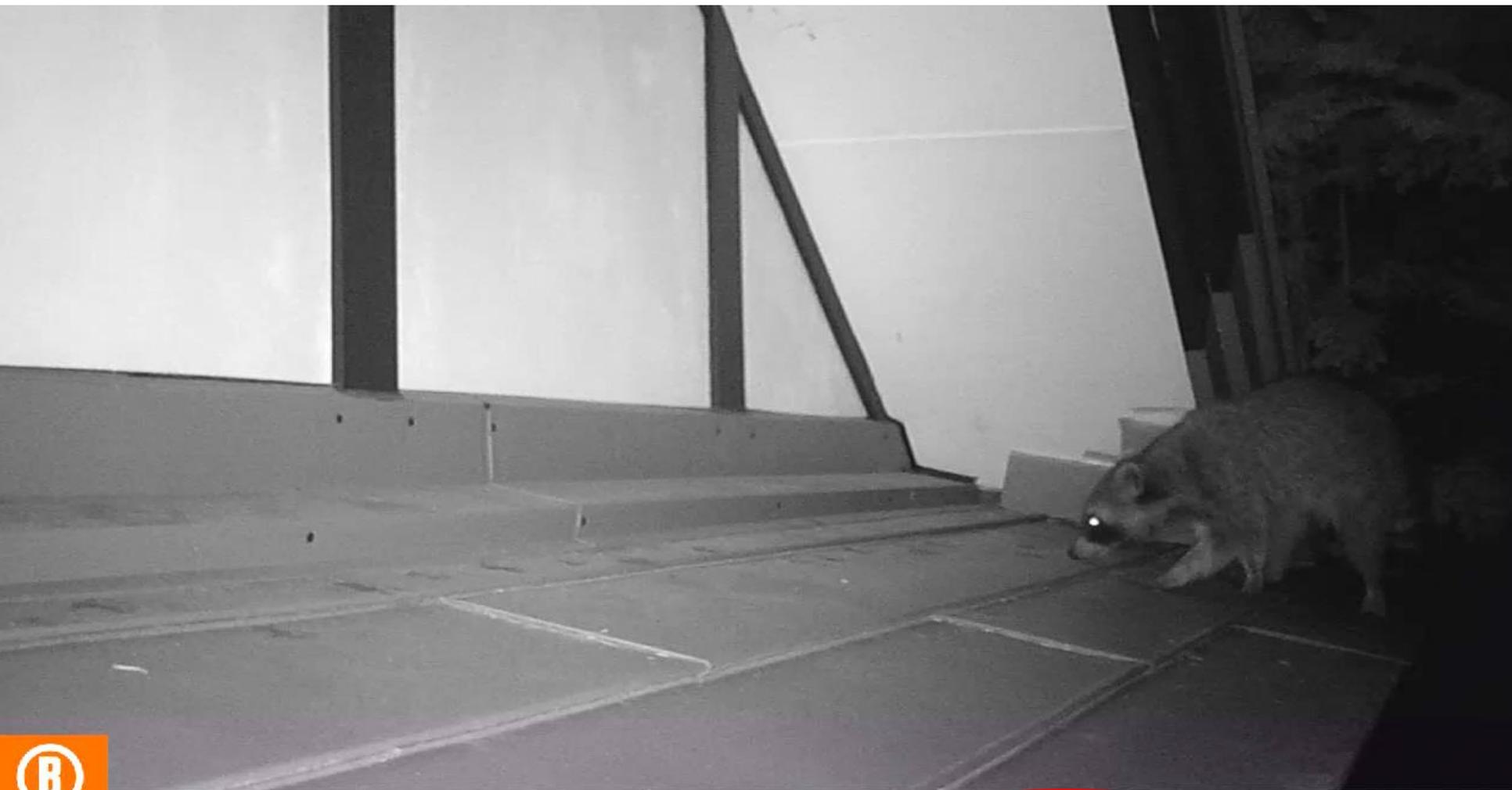
②侵入口を塞ぐ

③天井裏の清掃

# ①モニタリング + ②侵入口の封鎖

- ・侵入口前にセンサーカメラを設置
  - ・侵入口が複数→1つを除いて、すべて封鎖
- ➡動物を閉め込めないための措置





09-25-2025 20:49:56



翌日、段ボールがビリビリに  
→再度段ボールを貼ってモニタリング

再度、段ボールを貼ってモニタリングすると...



09-26-2025 21:54:59

# アライグマ・ハクビシンの被害防除

## 被害対策のプロセス

(「野生鳥獣被害防止マニュアル」農林水産省生産局を改変)

①加害動物の特定

②加害動物の特徴

- ・生態
- ・被害形態など

(1)農地や人家に寄せない

- ・廃棄物(果実や野菜ゴミ)の管理
- ・ねぐらとなる寺社、廃屋や別荘の管理

(2)侵入防止

- ・電気柵などの設置
- ・侵入口をつくらない

(3)捕獲

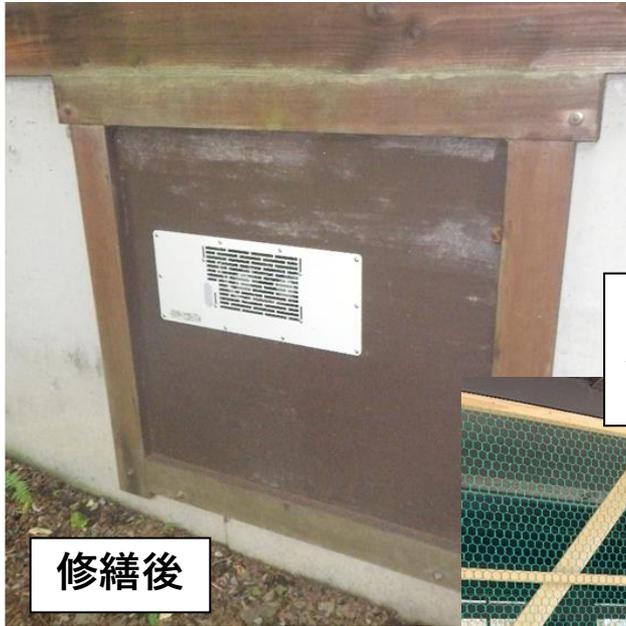
- ・加害個体の捕獲  
(錯誤捕獲を減らす)

被害の軽減

# 予防（やってもらいたいこと）

★自分の家屋をチェック！ 入れる隙間をなくす

- ✓ 通気口は細かい目を使用
- ✓ キツツキの穴、ムササビの穴も要注意！



↓ 床下全体を囲う。  
点検等で出入りできるようにドア  
を付ける。



死んだ魚や家畜の放置



廃棄野菜やゴミ等の放置



## 農地や人家に寄せない

- ・廃棄物(果実や野菜等)の管理
- ・ゴミの管理
- ・ねぐらとなる寺社、廃屋や別荘の管理

廃屋の放置



別荘の廃屋化



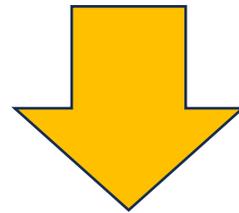
# 個体数を増やす原因

1) 廃屋、廃別荘

→ **住** (快適な棲み処) の提供

2) 農作物の放棄、食害対策をしない、効果的でない柵

→ **食** (栄養豊富な「餌」) の提供



**増やさない環境づくりが重要！**